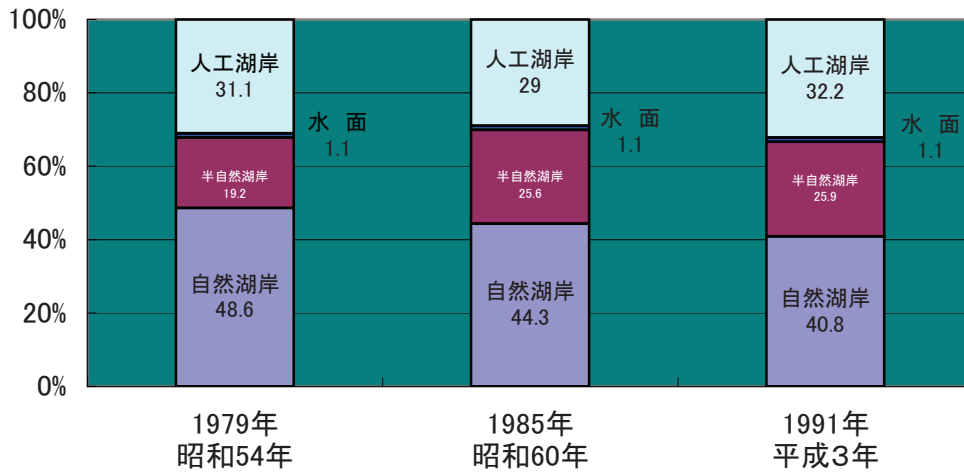


資料 33

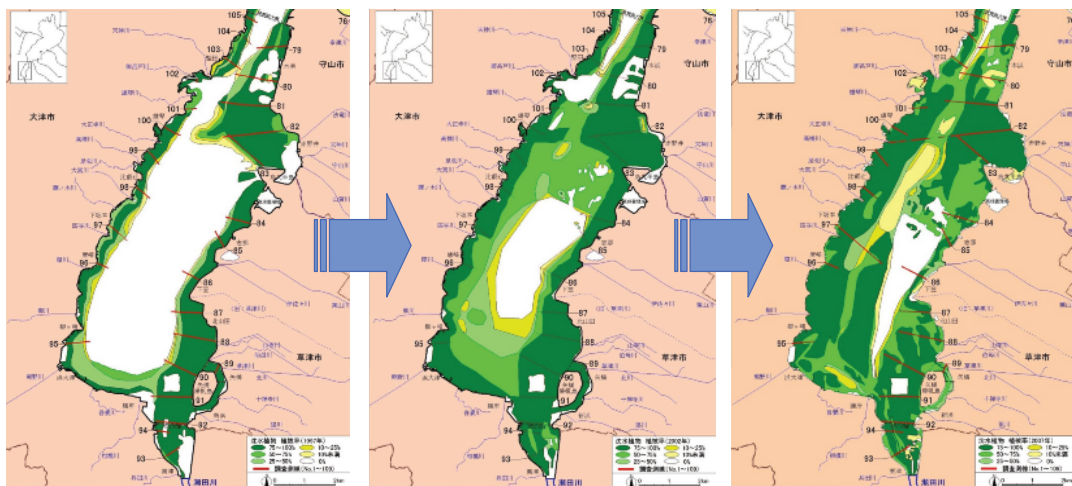
湖岸形態の変化



出典：緑の国勢調査

資料 34

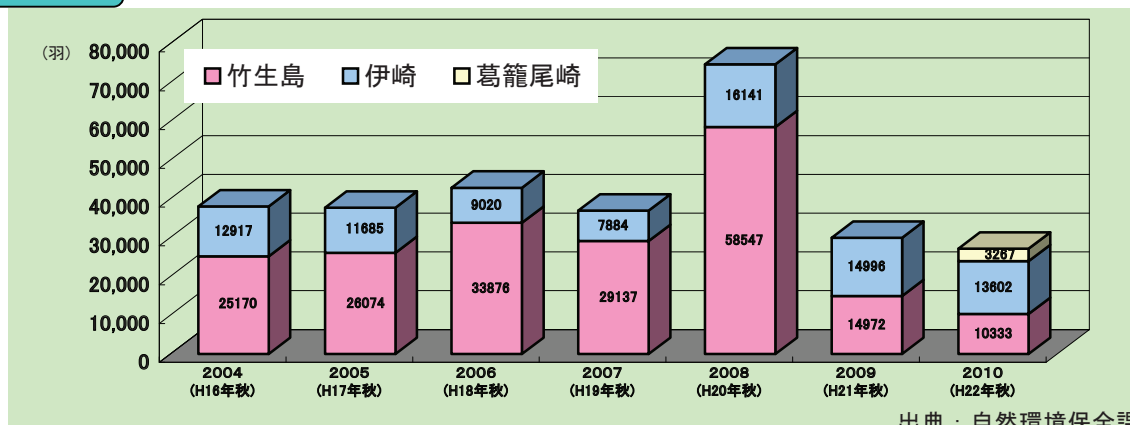
水草繁茂状況の推移



出典：(独)水資源機構

資料 35

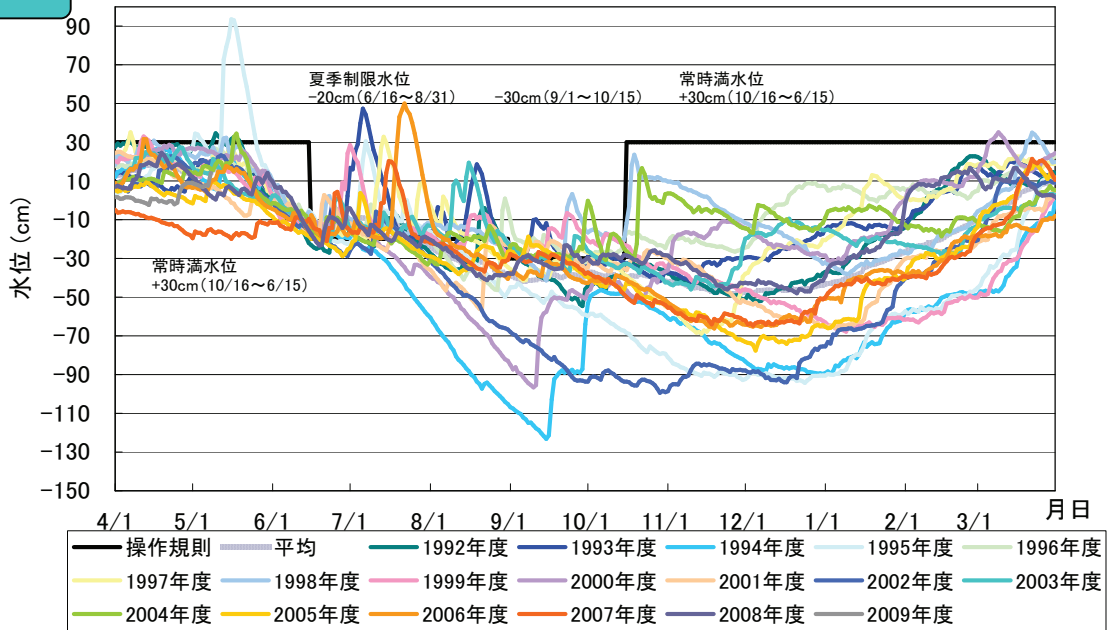
カワウ生息数の推移



出典：自然環境保全課

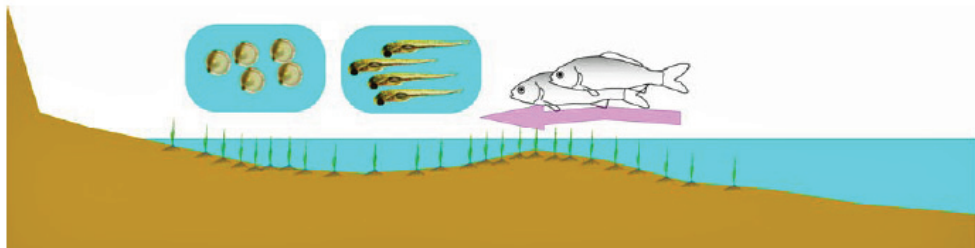
資料 36

瀬田川洗堰の操作による水位の季節変化

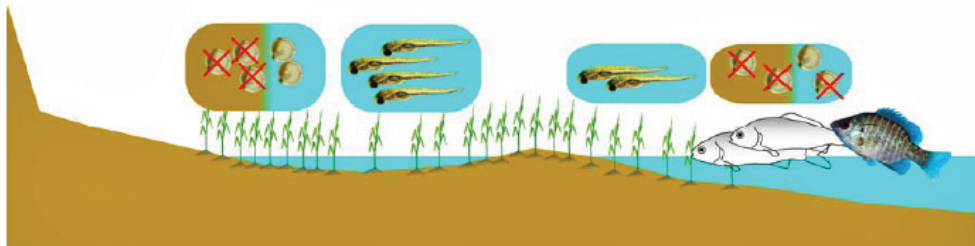


資料 37

水位操作による在来生物への影響



■4~5月 フナ類はヨシ帯奥部へ移動(のっこみ)、産卵する。孵化した仔魚は畝によって波浪や外敵から守られ、良好に生残する。



■6月上旬(移行期) 水位低下により一部の産着卵が干出する。ヨシ帯奥部は琵琶湖から分断されるが仔稚魚は引き続き良好な生残を示す。産卵はヨシ帯の縁辺近くで行われる。ブルーギルの産着卵への捕食圧が高まり、食害を受ける。

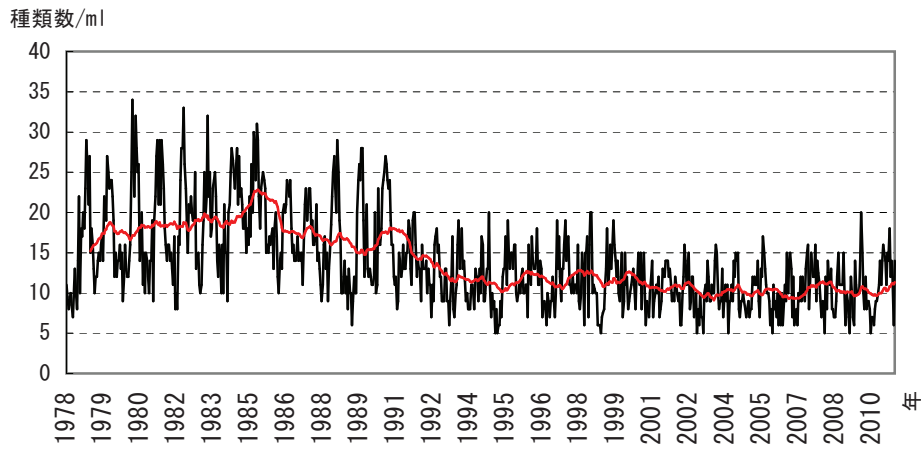


■6月中旬以降(出水期) さらに水位が低下し、ヨシ帯奥部にとりのこされた仔稚魚が干出する。縁辺部では引き続き降雨後に産卵があるが、オオクチバス、ブルーギルの捕食圧が高まり、食害を受ける。

出典：近畿地方整備局琵琶湖河川事務所

資料 38

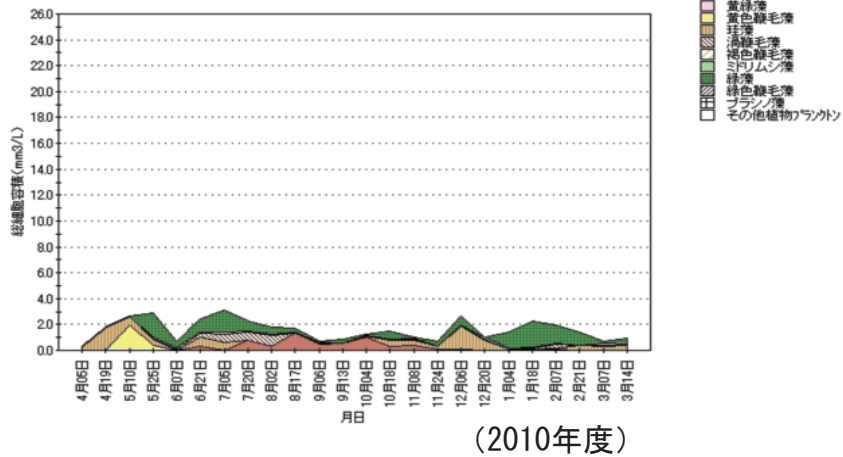
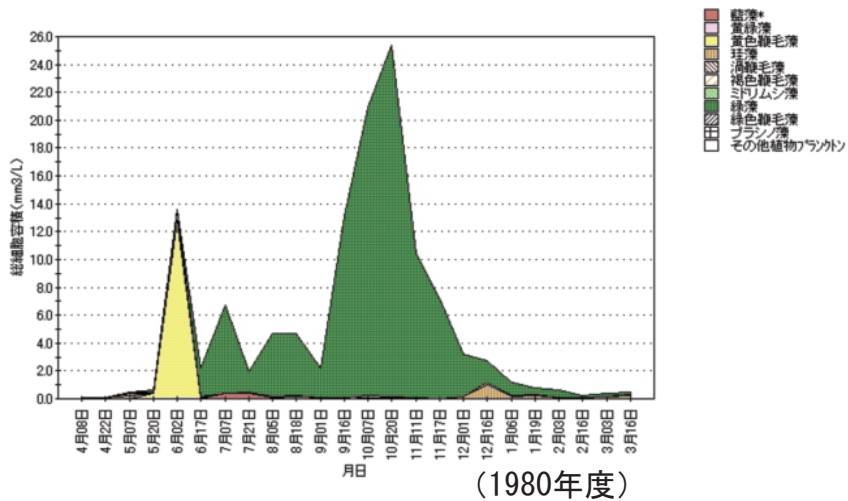
植物プランクトン種類数の変化（今津沖中央表層）



出典：琵琶湖環境科学研究センター

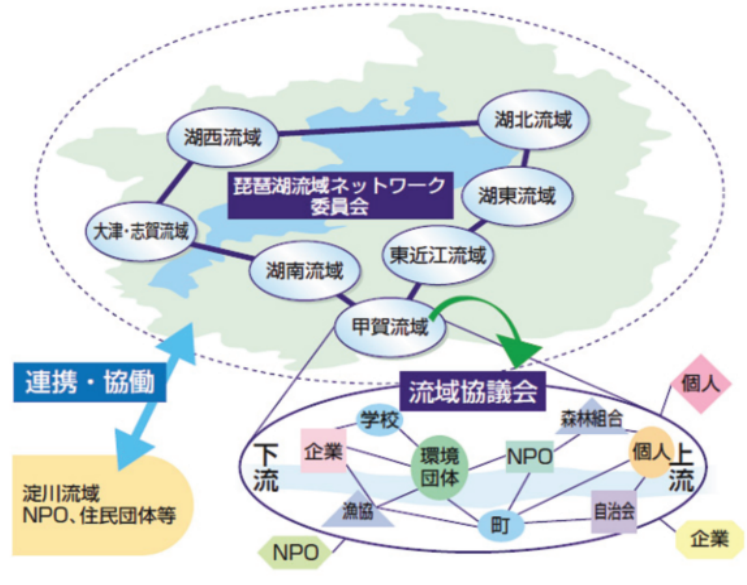
資料 39

植物プランクトン綱別総細胞容積の変化（今津沖中央表層）

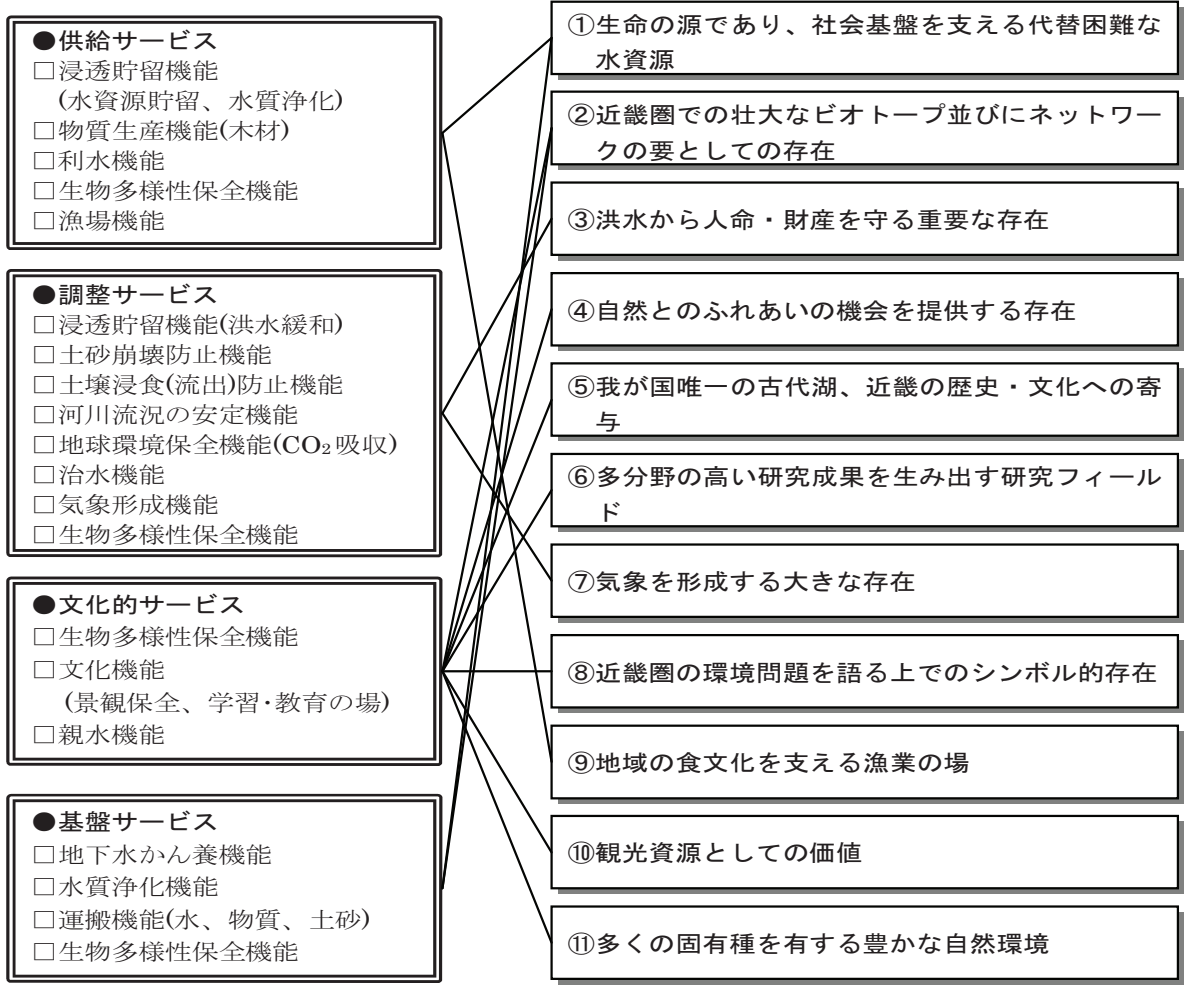


出典：琵琶湖環境科学研究センター

資料 40 第 1 期における流域単位の取り組み



資料 41 生態系サービスと琵琶湖の価値



出典：琵琶湖の総合的な保全のための計画調査

資料 42

描いてみよう！2020年の暮らしと琵琶湖
-市民ワークショップからの提案-
(琵琶湖流域管理シナリオ研究会)より抜粋

<参考資料3>

平成23年度第1回琵琶湖総合保全連絡調整会議
幹事会(平成23年8月24日開催)資料